【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

№23-24
2023年１１月３０日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

すべてのオスプレイを飛行停止し日本への配備を撤回せよ

安保破棄中央・東森事務局長が談話

＜談話全文＞

昨日、鹿児島県の屋久島沖で米軍横田基地所属の特殊作戦機CV22オスプレイが墜落事故を起こしたことは極めて重大な問題です。

私たちは、今回の重大事態を踏まえ日本政府と米国に対し、東京・横田基地に配備されている同型オスプレイをはじめ、沖縄の普天間基地配備の米海兵隊オスプレイ、さらには千葉・木更津基地に「暫定配備」され佐賀空港への配備が狙われている陸上自衛隊のオスプレイを含め、すべてのオスプレイの飛行を全面的に中止するとともに、日本への配備を撤回するよう求めます。また、事故原因を早急に明らかにし、日本国民の納得できる説明を行なうよう米国と日本政府に求めます。

オスプレイは米国での開発段階から重大事故を繰り返し、多くの命を奪っており、ヘリと飛行機の機能を両方備えていることに由来する〝構造的欠陥機〟として世界に知られています。日本でのオスプレイ墜落事故は2016年の沖縄県名護市沖合での事故に続いて2件目です。

昨年6月、米・カリフォルニアでは乗員５人が死亡するMV22オスプレイの墜落事故が発生し、同年8月にノルウェーでCV22が飛行不能に陥り緊急着陸したことから、米軍は世界でオスプレイの飛行を停止し、日本でもオスプレイの一時的な飛行停止が行なわれました。しかし、米海兵隊はこの事故の報告書で「クラッチの不具合」と発表したものの、抜本的対策を講じないまま飛行を再開し、日本配備のオスプレイも飛行が再開されていました。

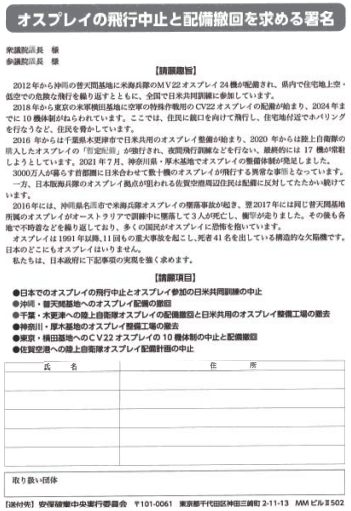
今回の墜落事故は、こうした中で発生したものであり、米軍と日本政府の責任は免れません。更なる事故を引き起こさせないためには、すべてのオスプレイの飛行停止と配備撤回を行なう以外にありません。

問題は、日本政府が米軍からの報告、説明を鵜呑みにして、自ら調査、点検を行なっていない態度に終始していることです。

私たちは、今回の事態を踏まえ、「日本のどこにもオスプレイはいらない」の声を高めて、全国が連携してオスプレイ配備撤回の運動を強化することを強く訴えます。　以上

オスプレイの飛行停止と配備撤回を求める署名を広げましょう

安保破棄中央実行委員会はオスプレイの飛行停止と配備撤回を求める署名に取り組んでいます。署名用紙は、送料を負担いただければ、無料で提供します。署名用紙の注文は安保破棄中央実行委員会へ。



オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める署名

衆議院議長　様
参議院議長　様

【請願趣旨】

2012年から沖縄の普天間基地に米海兵隊のMV22オスプレイ24機が配備され、県内で住宅地上空・低空での危険な飛行を繰り返すとともに、全国で日米共同訓練に参加しています。

2018年から東京の米軍横田基地に空軍の特殊作戦用のCV22オスプレイの配備が始まり、2024年までに10機体制がねらわれています。ここでは、住民に銃口を向けて飛行し、住宅地付近でホバリングを行なうなど、住民を脅かしています。

2016年からは千葉県木更津市で日米共用のオスプレイ整備が始まり、2020年からは陸上自衛隊の導入したオスプレイの「暫定配備」が強行され、夜間飛行訓練などを行なわ、最終的には17機が常駐しようとしています。2021年7月、神奈川県・厚木基地でオスプレイの整備体制が発足しました。

3000万人が暮らす首都圏に日米合わせて数十機のオスプレイが飛行する異常な事態となっています。

一方、日本版海兵隊のオスプレイ拠点が望まれる佐賀空港周辺住民は配備に反対してたたかい続けています。

2016年には、沖縄県名護市で米海兵隊オスプレイの墜落事故が起き、翌2017年には同じ普天間基地所属のオスプレイがオーストラリアで訓練中に墜落して３人が死亡し、衝撃が走りました。その後も各地で不時着などを繰り返しており、多くの国民がオスプレイに恐怖を抱いています。

オスプレイは1991年以降、11回もの重大事故を起こし、死者41名を出している構造的な欠陥機です。日本のどこにもオスプレイはいりません。

私たちは、日本政府に下記事項の実現を強く求めます。

【請願項目】

●日本でのオスプレイの飛行中止とオスプレイ参加の日米共同訓練の中止
●沖縄・普天間基地へのオスプレイ配備の撤回
●千葉・木更津への陸上自衛隊オスプレイの配備撤回と日米共用のオスプレイ整備工場の撤去
●神奈川・厚木基地のオスプレイ整備工場の撤去
●東京・横田基地へのCV22オスプレイの10機体制の中止と配備撤回
●佐賀空港への陸上自衛隊オスプレイ配備計画の中止

氏　名	住　所

取り扱い団体

【送付先】安保破棄中央実行委員会　〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町 2-11-13　MM ビル Ⅱ 502

12月20日に辺野古「代執行」裁判判決

岸田政権が沖縄県に対して起こしている辺野古新基地建設強行のための「代執行」裁判の判決が12月20日午後2時に行なわれると、福岡高裁那覇支部が通知しました。

福岡高裁那覇支部三浦隆志裁判長宛に取り組んでいる、沖縄の民意を踏まえた公正な判決を求める団体署名は1501団体に達しています。署名は本日が締め切りとなっていますので、よろしくお願いいたします。